

西東京市産業振興マスタープラン 後期計画の構成概要

第 1 章 後期計画の策定に当たって

1 策定の背景と目的・位置付け

- ・ 平成 23 (2011) 年 3 月に「西東京市産業振興マスタープラン」を策定。平成 26 (2014) 年度から中期計画に取り組むとともに、平成 28 (2016) 年 3 月に策定した総合戦略と並行して実施。
- ・ 後期計画は、最終 5 カ年である平成 31 (2019) 年から平成 35 (2023) 年までの計画。西東京市第 2 次総合計画を上位計画とし、第 2 次農業振興計画や関連計画との整合性を図る。

2 西東京市の概況

- ・ 位置・地勢、人口・世帯、産業構造について記載。

3 産業を取り巻く社会経済情勢

- ・ 「景気」「消費」「働き方・キャリア形成」「各分野を取り巻く国・東京都の動向」の観点から整理。

4 中期計画及び総合戦略の検証

- ・ 中期計画における「農業分野」「ものづくり分野」「商業・サービス分野」「商店街分野」及び総合戦略について、施策ごとに検証及び評価。

5 市内産業に対する意見・アイディア

- ・ 第 2 次西東京市農業振興計画の中間見直しに伴う基礎調査、商店街活性化支援調査、中期計画の各種事業に関わった事業者や団体等に対するヒアリング調査、消費者インタビュー調査（サンプル調査）の結果の整理。

6 策定に向けた基本的な考え方

- ・ 3～5 を踏まえ、産業振興に向けた現状と課題、後期計画策定に向け必要な見直しのポイントを整理。

産業振興に向けた現状と課題

- (1) 人口増加による新たなマーケットに対する期待値の高さ等を、産業振興に活かす必要がある。
- (2) 都市と共生しつづけられる農業・農地のあり方が求められている。
- (3) 商店街の新たな価値付けと、市民への理解促進が求められている。
- (4) 既存事業者の事業継続に向けて、人材育成や経営力強化、独自技術の魅力発信、事業継承等の重要度が高まっている。
- (5) 多様な働き方・キャリア形成の実現機会として、市の起業・創業支援の拡充や就労支援が求められている。
- (6) 事業者間や地域との連携により、新たな事業創出や地域活性化が求められている。
- (7) 地域資源を循環させる観光振興や、市全体の魅力づくりが求められている。

見直しのポイント

- (1) 分野共通の課題解決に向けて連携を促進させる。
- (2) 市民の暮らしや地域活性化に対して、まちづくりの視点で産業が果たす役割を広い視野で捉える。
- (3) 西東京市の産業振興の強みの強化とさらなるブランディング。

第2章 産業振興で目指すもの

- ・ 産業振興マスタープランで掲げる「将来像」と「目標」について説明。（中期計画から継続）

将来像 「地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が育ち・育てるまち 西東京」

目 標

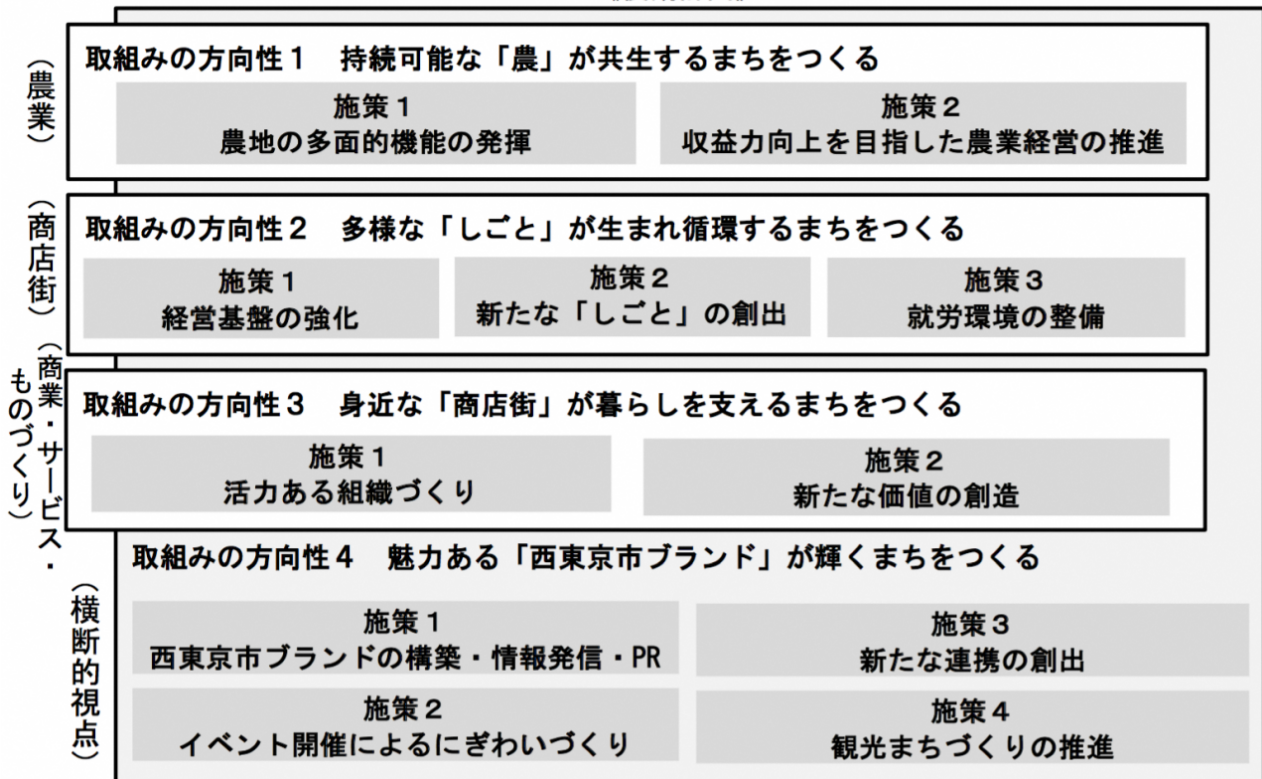
- ・ 『業（ぎょう）』として収益を上げ、市の財政に貢献するとともに、雇用を生み出す。
- ・ 産業の『多面的な役割』を活かして、市民生活の安心を支える。
- ・ 『地域の顔・イメージ』をつくり、地域の価値や市民の愛着を高める。

第3章 後期計画

■ 後期計画の考え方

- ・ 中期計画からの将来像の継続 ・ 「健康」応援都市の実現 ・ 分野連携を促す施策体系
- ・ 「西東京市ブランド」の創出 ・ 事業内容や事業主体の整理
- ・ 消費者ニーズや事業者意向の継続的な把握
- ・ 各取組みの方向性について、基本的な考え方と施策の内容、施策に位置付ける事業概要について説明。

《後期計画》



■ 実現に向けて

- ・ 各主体の役割、計画の推進体制、進行管理、実行プログラム年次計画を記載。